

スズキ、インド・グジャラート工場で累計生産100万台を達成



100万台目となった「バレーノ」

スズキ株式会社のインドにおける四輪生産子会社スズキ・モーター・グジャラート社(SMG 社)は、10月21日に累計生産100万台を達成した。2017年2月の生産開始から3年9ヵ月での累計100万台の達成は、スズキの生産拠点としては最速となる。

SMG社は2017年2月に「バレーノ」の生産を開始し、2018年1月より「スイフト」の生産、3月には輸出向けの生産を開始した。2019年1月には拡大するインド国内外の需要に対応するため2つ目の工場となるB工場とパワートレイン工場が稼働した。

2019年度のインドにおけるスズキ四輪車の販売台数は約144万台(前年比82%)、生産台数は約158万台(前年比85%)で、そのうちSMG社は25%にあたる約41万台(前年比141%)を生産した。今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を徹底し、安全を確保しながら生産活動を行ない、お客様からの需要に対応していく。

●スズキ・モーター・グジャラート社の概要

社名	Suzuki Motor Gujarat Private Limited
本社所在地	グジャラート州アーメダバード
従業員数	約1,800名(2020年3月末現在)
資本金	1,268億ルピー(スズキ出資比率100%)
生産車種	バレーノ、スイフト